

CONTENTS

- 会長挨拶
「再任のご挨拶・土木会総会を迎えて」
会長 新井 栄作（摂大昭和60年卒）
- 学科長挨拶
「6年目を迎えた都市環境工学科」
教授 頭井 洋
- 総会報告 平成27年度 摂南大学土木会総会
- 理工学部都市環境工学科 改組から6年目を迎えて
教授 伊藤 譲
- 就任のご挨拶
- 教室だより
- 技術士会だより
- 2015年度の就職状況
- 卒業生特集
求められる技術と人材
- 「都市環境システム工学科 建築士プログラム」
（一級建築士受験資格）認定条件
- 在学生特集
テーマ「摂南大学ってどんな大学？」



再任のご挨拶・土木会総会を迎えて

会長 新井 栄作

(撰大昭和60年卒)
信幸建設(株)大阪支社長



会員の皆様におかれましては、各方面で益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

役員会のご推薦を受けて、不肖、私が引き続き会長を受けることとなりました。重責を担うことを痛感しています。今後も伝統ある土木会を発展させるために、微力ではありますが、一層の努力をする所存であります。

昨年、土木会創立50周年祝賀会は常翔学

園関係者、土木会会員の皆様からのご支援、ご協力を戴き、盛会に終えられたことをご報告するとともに御礼申し上げます。さて、公共事業を取り

巻く環境は、東日本大震災の復興関連事業や政府の経済対策・成長戦略に加え、国民の安全・安心確保、地域の活性化といった分野への取り組みが推進されています。政府が掲げる国土強靱化、防災、減災対策など社会資本整備をめぐる諸課題のなかで、いま最も脚光を浴びているのが老朽化インフラ対策です。今後、人材やノウハウが不足することが懸念されています。人手不足の対応は、土木技術者、技能労働者の職場環境の改善を早急に取り組み、女性技術者、

女性技能労働者の採用拡大を打ち出し、土木の必要性と魅力を広く発信することが求められています。

また、インフラの品質確保とその担い手の確保を目的とした公共工事品質確保促進法(品質法)、公共工事入札契約適正化法(入契法)、建設業法3法の改正(担い手3法)は、建設業界が抱える課題の解決に向けた明るい材料のひとつとなりました。

最後に、本年度は常翔学園大阪センター(大阪市北区梅田)で11月14日(土)に総会を開催します。是非とも多くの会員の絆をさらに深めるために、会員一人一人の積極的な参加をお願いいたします。総会でお会いしましょう。

6年目を迎えた都市環境工学科

学科長挨拶

教授 頭井 洋



撰南大学土木会会員のみなさまには、平素より本学科の運営にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

都市環境工学科として今年6年目になります。学科改変に伴うカリキュラムの改革は一段落しましたが、さらなる改革へ努力します。引き続きよろしくお願ひ申し上げます。昨年から求人はいくらもなりましたが、今年も求人は官民ともに好調です。公務員希望者が多いのが今年の特徴ですが、地方上級はじめ合格者も多数出てくれると期待しています。民間会社の方も、採用時期がずれるなど当初は心配しましたが、順調に内定者がでていきます。

工学部の教員を務められました。道廣先生の後任として、京都大学の博士課程を修了した新進気鋭の寺本講師をお迎えしました。学生にもっとも年齢の近い若手教員として、今後の活躍が期待されます。本学科共通準備室スタッフとして長年勤めていただいた黒崎さんが学園規定により今年3月に退職されました。黒崎さんは主として学科の会計処理を担当していただき、教員一同も様々な形でお世話になりました。黒崎さんの後任として河合さんが着任され、特任を含む専任教員10名、共通準備室スタッフ3名で学科を運営しています。つぎに、撰南大学土木会にご協力をいただいている内容を中心に学科の主な動きを紹介します。

JABEEに関しては、2012年度の継続審査により2018年3月まで6年間の認定を受けています。昨年は継続的な改善活動の一環として撰土会の協力をいただき卒業生アンケートを実施しました。学科教育改善委員会委員長の八木先生がアンケートを分析していただいています。結果は学科のホームページ(<http://www.seisan.ac.jp/civ/index.html>)を通じて卒業生の皆様にフィードバックするとともに、来年3月に開催を予定している学科の外部評価と教育改善に活用していきます。

撰南大学技術士会および撰土会の全面協力のもとに在学生むけの技術士啓蒙講演会を今年も6月に実施しました。木下会長、新田副会長、寝屋川市職員の小山さんの講演・激励など、技術士資格の重要性や技術士の役割等をわかりやすく説明していただきました。9月には、学生向け講演会、現場見学会の開催を予定しています。これらの行事にも、毎回、土木会の皆様のご協力をいただいています。

昨年は撰土会創立50周年の年に当たり、11月に記念祝賀会が本学で開催されました。多くの同窓生が集っていただき、OB・OGの方々も楽しいひと時を過ごすことができました。今後とも、母校と本学科の発展にご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ご案内

平成27年度 撰南大学土木会総会

平成27年度総会を下記日程で開催いたします。ぜひ旧友とご連絡をお取りいただき、ご参加いただけますようお願い申し上げます。

■と き：平成27年11月14日(土)

●15:00～16:00 特別講演：「ご安全に!!」～労働災害防止の合言葉～
発表者：厚生労働省 北大阪労働基準監督署 労働衛生専門官 坂本 圭 先生

●16:15～16:45 平成27年度総会

●17:00～19:00 懇親パーティー

■ところ：常翔学園大阪センター(特別講演・総会)

・毎日インテリオ3F「Restaurant&Lounge翔」(懇親パーティー)

■会 費：3,000円

準会員(学生)向けの講演

平成27年10月24日(土) 13:00～14:00(8号館4階842教室)

「就職に役立つ土木業界の特徴」一般社団法人 近畿建設協会 小川 芳也 先生

50周年記念祝賀会報告

撰南大学土木会50周年記念祝賀会開催される

代表幹事 中土井 敬史(西日本旅客鉄道(株) 撰大平成7年卒)
撰南大学土木会50周年記念祝賀会が平成26年11月29日(土)午後5時より、撰南大学11号館スカイラウンジにおいて、多数の出席者の中で開催されました。

オープニングは50周年記念祝賀会にふさわしく撰南大学吹奏楽部による奏楽で華々しく始まりました。新井会長(撰大60年卒)の挨拶につき、ご来賓としてご臨席を賜りました学校法人 常翔学園理事長の久禮哲郎先生、撰南大学学長の今井光規先生、撰南大学理工学部長の森脇俊道先生、撰南大学理工学部都市環境工学科長の頭井洋先生にご祝辞のお言葉を頂戴しました。乾杯は撰南大学土木会の名誉顧問であります井上治先生にご発声頂き、会員相互の親睦を深めることができました。また大阪工業大学土木会を始め、各卒業生会代表からも激励のお言葉を頂戴しました。

祝賀会では役員会で作成しました撰南大学土木会50年の歴史を写真で振り返るDVDを放映し、懐かしい映像に皆さん大いに盛り上がっていました。歴代会長への感謝状を贈呈して、終始和やかな雰囲気の中、平成26年3月で退職される道廣一利先生に中締めをして頂き、澤井健二先生の万歳三唱をもって、次期総会(平成27年)の再会を誓って閉会いたしました。

就任のご挨拶

都市環境工学科・講師 寺本 俊太郎



2015年4月より、道廣一利教授の後任として、都市環境工学科の講師として就任いたしました。これまでに、京都大学工学部地球工学科を卒業、昨年度に社会基盤工学専攻を修了し、ご縁あって本学で教鞭を取らせていただいております。これからは、研究のみならず、教育という重要かつ困難な分野においても尽力していきたいと思っておりますので、何卒よろしくお願いたします。

授業は、「地盤力学」、「建設工学実験」、「環境計画設計製図」などであり、専門分野となります地盤系、基礎工学に関した科目を担当しております。特に地盤力学は、土木の三力のひとつとなる非常に重要な基礎学問でありますので、若輩者として大きな責任を感じながらも、少しでも学生に土への興味を持ってもらえるように日々工夫して望んでおります。

卒業研究では、次のテーマについて取り組んでおります。

①増し杭された群杭基礎の力学挙動の解明および新たな施工方法の提案
先日の東日本大震災やきたる南海トラフ地震に面して、構造物の耐震補強について多くの感心が集まっております。その構造物の基礎に対する耐震補強方法のひとつである「増し杭工法」について、現在の施工方法や設計法の問題点を改善するために、模型実験や数値解析を行って検討を進めております。

②デジタル写真測量技術を用いた補強土壁の変位計測
近年の集中豪雨増加による土砂災害などが増えている背景もあり、補強土壁（補強材を盛土内に埋め込んで補強した構造物）の変形・維持管理が重要とされています。その維持管理の方法として、写真測量技術を用いた定期的な変位計測を行っており、長期的な変状や災害時の変状について調べております。

大学運営では、広報委員会としてオープンキャンパスを始めとした対外行事に関わっており、土木の魅力をお伝えできるように努力しております。学生には、学業や研究に加えて、礼儀作法を身に付け、周囲への配慮ができる人間になるように指導しております。

理工学部都市環境工学科 改組から6年目を迎えて

都市環境工学科・教授 伊藤 譲

2010年度に工学部から理工学部への改組が実施され、工学部の2学科が募集停止（都市環境システム工学科、マネジメントシステム工学科）、3学科が新設された（生命科学科、住環境デザイン学科、都市環境工学科）。また、新たな学部として経済学部が設置され、2012年度には看護学部が新設された。

本学科としては、実質的には名称変更であったが、定員は土木工学科時代の110名から都市環境工学科は60名とほぼ半減した。また、改組直後に一時的に受験生が激減するなど、学校当局からも厳しい視線で見られることもあった。

この厳しい状況を耐えられたのは、教室と同窓会組織である摂士会が常に連携を取ってきたこと、就職難の時代においても教員による企業訪問で着実に就職先を確保して、実質的就職率で100%を維持してきたこと、教育改善においても大学の先頭を走ってきたことにある。特に、現在、理工学部5学科で取り組んでいるJABEE認定では、他学科に先駆けて都市環境システム工学科時代の2007年度に都市環境システム総合コースが新規認定、2009年度に中間審査合格、2012年度には都市環境総合コースとして継続認定を得ることができた。なお、現在まで、JABEE認定された総合コースの修了生は239名である。

教育改善では、学科レベルでは、OBによる授業内容に関するアンケートの反映、主要専門科目におけるクラス分け授業、予習・復習を促すシステム、P-1（ペーパーリッジコンテスト）によるエンジニアリングデザイン教育、公務員・資格試験の実験促進等、学部レベルでは、教養科目を含むすべてのシラバスのチェック体制、全国に先駆けた科学技術教養科目の立ち上げ、英語・数学の共通試験の実施等などが挙げられる。

このように、改組前後から本学科では様々な改革を実施して成果を得ることができたが、教室と同窓会組織である摂士会が繋がっていることは大きなメリットであり、他学科でも摂士会を手本とした同窓会組織の強化を始めているようである。

今後とも、摂士会の皆様におかれましては、授業改善や就職対策においてご支援をお願いいたします。

建設コンサルタント・補償コンサルタント・情報測量・情報管理

大島技術コンサルタント株式会社

本社 岡山県真庭市藤山上福田829-1
〒717-0602 ひるぜん TEL 0867-66-3673(代)
FAX 0867-66-3674
URL: <http://www.ogcflight.co.jp>

明日の快適な環境づくりに貢献する
総合建設コンサルタント

株式会社 **アスコ**

大阪本社 〒541-0054 大阪市中央区南本町3-6-14
TEL 06-6282-0310 FAX 06-6282-0311

東京本社 〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町9-19
TEL 03-5641-2181 FAX 03-5641-2187

神戸支社 〒657-0841 神戸市灘区灘南通5-4-15
TEL 078-871-5611 FAX 078-871-5541

奈良支社 〒634-0813 奈良県橿原市四条町279-1
TEL 0744-21-0041 FAX 0744-21-0031

URL <http://www.asco-cc.co.jp/>

大阪市内より30分圏内の
緑豊かなお墓地をご案内いたします。
お墓のことならどんな事でもお気軽におたずね下さい。

お墓の相談コーナー ☎0120(305075)

(株) 太田石材店

本社 大阪市城東区古市1丁目23番20号
TEL 06-6930-5075

——— 当社推奨霊園 ———

総持寺霊園(茨木市)	服部徳風墓地(豊中市)
陸国寺墓地(吹田市)	竜の子霊園(奈良県)
海印寺墓地(長岡京市)	玉手山墓園(柏原市)
王寺霊園(奈良県)	飯盛メモリアルパーク(四條畷市)
東本願寺天満別院(北区)	飯盛霊園(四條畷市)
北拱霊園(豊能郡)	その他公営墓地
真龍寺霊園(茨木市)	

新しい時代。
『人と環境にやさしい』吹付のり枠工法

■ 補強土養生のり枠工法
GTフレーム工法
GREEN-TECHNO-FRAME-METHOD

▶ NETIS 登録番号 CB-070019-A

Ecology
イビデングループは
環境に配慮した製品づくりに取り組んでいます。

ig イビデングリーンテック株式会社

【本 社】 〒503-0021 岐阜県大垣市河間町3-55
TEL 0584-81-6111 FAX 0584-74-1971 <http://www.ibiden.com/ibgt/>

教室だより

都市環境工学科・准教授 田中 賢太郎

今年度、都市環境工学科には、1年次70名(8名)、2年次72名(6名)、3年次76名(3名)、4年次61名(6名)で合計279名(23名)の学生が学んでいます。なお、括弧内の数値は女子学生を示します。大学院の社会開発工学専攻における学科出身者は、1年次3名、2年次3名です。一方、頭井 洋 教授が学科長として学科運営に当たり、教職員は専任10名、非常勤30名、事務スタッフ3名の陣容で教育・研究の指導に当たっています。

学科主催の行事として、2014年9月11日に実施した講演会および現場見学会について報告させていただきます。



都市計画道路大和川線常磐東開削トンネル工事 (3年生)

講演会では、(一社)建設コンサルタンツ協会(JCCA)のご協力を得て、建設コンサルタンの役割や業務内容などについてご講演いただきました。最後に、質疑応答の時間があり、学生たちは積極的に質問していただきました。

現場見学会は、1年生は2箇所(①人と防災未来センター、②琵琶湖疎水記念館)に、3年生は3箇所(①都市計画道路大和川線常磐東開削トンネル工事、②NEXCO総研緑化技術センター、③大阪港北港南地区航路(-16m) 附帯施設護岸築造工事)にわかれて現場を見学しました。参加した学生は、建設現場の魅力や土木技術者の役割を肌で感じているようでした。また、摂士会を通じて、大阪港北港南地区航路(-16m) 附帯施設護岸築造工事(施工:東亜建設工業株式会社)の見学先をご紹介いただきました。この紙面をお借りして、心より厚くお礼申し上げます。



琵琶湖疎水記念館



大阪港北港南地区航路(-16m) 附帯施設護岸築造工事 (3年生)



人と防災未来センター



NEXCO総研緑化技術センター (3年生)

公共施設総合サービス業



苅田建設工業株式会社

代表取締役 苅田 孝太郎

ISO9001 本社 〒660-0087
ISO14001 尼崎市平左衛門町18番31号
TEL (06)6419-2981(代表)
ホームページ: <http://karitakenetsu.com>
三田営業所 三田市天神1丁目2-12
TEL (079)563-0095

KAIKEN-街づくりの総合コンサルタント
大規模開発(住宅団地・工業団地)/
土地区画整理事業/建築設計/
環境アセスメント

株式会社 開発計画研究所

業者登録

- 建設コンサルタント 登録番号・建(19)第4364号
- 一級建築士事務所 登録番号・茨城県第A0994号
- 測量業 登録番号・第5-15601号
- 補償コンサルタント 登録番号・補18第2949号

代表取締役 井上 忍
(昭和44年3月卒業)

事務所: 東京・水戸
TEL 03-5828-6855

独自技術で未来を育むベストソリューションを提供します。

●環境・水

- 多層多孔電気伝導度計測システム ■地下水資源探査・開発
- 土壌・地下水汚染探査 ■環境予測・評価
- 自然由来重金属迅速判定(ポルタメトリ法)

●海洋・エネルギー

- マルチチャンネル音波探査(2D・3D)
- 水上三次元音響探査
- シングルチャンネル音波探査 ■海底地震計

●防災・減災

- 土砂災害予測・計測システム ■空洞写真・空洞内部計測装置
- スリープ震源による地質構造探査と地震動評価
- ラバル型大口径サンブラー ■IT傾斜計測システム

●メンテナンス

- バルスレーダ探査 ■連続スレーダ探査 ■EM探査
- コンクリート劣化診断 ■GoTEN-16(孔内局部載荷試験)
- 孔内ベクトル磁力計 ■SAAMジャッキ(軽量型ソフトオフ試験機)



Sincerely, Speedy, and Best Solution.



川崎地質株式会社

Kawasaki Geological Engineering Co., Ltd. <http://www.kge.co.jp/> E-mail: post-master@kge.co.jp

〒108-8337 東京都港区三田2-11-15
TEL.03-5445-2071 FAX.03-5445-2073



安全で住み良い街づくりを

総合建設業

株式会社 紙谷工務店

代表取締役社長 紙谷 繁夫

本社 大阪府吹田市江坂町3丁目3番1号
TEL.(06)6385-1701(代表)
FAX(06)6330-6408

支店 東京支店・札幌支店・池田支店

[摂南大学土木会] 平成26年度 決算書・平成27年度 予算書

平成26年度決算は表1のとおりであり、監査を経て、平成27年7月の役員会で収支とも相違ないことが認められた。

また、平成27年度予算は表2に示すとおりである。摂土会総会開催のため、支出の部で総会の開催費用および会員向けの特別講演会の講師料が計上されている。

表1 平成26年度決算

収入の部		
科目	予算	決算
前年度繰越金	680,664	680,664
正会員入会金 75名	760,000	750,000
広告料(18社)	320,000	360,000
広告料(個人) 23名	0	60,000
預金利息	500	523
名簿売上	3,000	0
創立50周年寄付金	50,000	386,000
特別積立金より繰入	100,000	100,000
雑収入	0	275,000
合計金額	1,914,164	2,612,187

支出の部		
科目	予算	決算
事務費等	140,000	6,465
創立50周年記念 祝賀会費	650,000	730,854
名簿追加修正費	30,000	25,600
会報発行費	800,000	838,867
同窓会補助	30,000	0
役員会・評議員会費	100,000	86,687
特別講演会	0	0
慶弔費・見舞金	70,000	60,030
雑費	30,000	3,120
予備費	64,164	0
次年度繰越金	0	860,564
合計金額	1,914,164	2,612,187

平成27年3月31日現在 特別積立金330万円

表2 平成27年度予算

収入の部	
科目	予算
前年度繰越金	860,564
正会員入会金	600,000
広告料	320,000
預金利息	500
名簿売上	3,000
特別積立金より繰入	0
合計金額	1,784,064

支出の部	
科目	予算
事務費等	140,000
総会費	400,000
名簿追加修正費	30,000
会報発行費	800,000
同窓会補助	30,000
役員会・評議員会費	100,000
特別講演会(2人分)	100,000
慶弔費・見舞金	70,000
雑費	30,000
予備費	84,064
合計金額	1,784,064

平成27年4月1日現在

特別積立金330万円

2015年度の就職状況

大きな変化の中での就職活動
- 人間力、実践力、統合力を磨こう

都市環境工学科 教授 熊野 知司

最近の日本経済は、永らく続いた不況から抜け出す兆しを見せています。国土交通省の統計では、公共と民間を合わせた建設投資は、2010年度には約42兆円まで減少しましたが、2011年度の東日本大震災を機に増加に転じ、2014年度は約48兆円となっています。東京オリンピック関連のインフラ整備需要、社会資本ストックの老朽化による維持修繕工事の増加等が背景となり、しばらくはこの傾向が続くと思われ、一方で総務省の労働力調査によれば建設業の就労人口は、1997年度の685万人をピークに減少を続け、2013年度には490万人となっています。建設投資が増加しているのに対し、就労人口が減少し、人手不足が顕在化することになりました。この結果、企業に加えて官公庁も採用意欲が非常に高い状況になっています。

このような経済情勢の変化に加えて、就職活動にも変化があらわれました。政府と経団連との合意により、昨年度までは12月1日であった就職活動の解禁が3月1日に3か月後ろ倒しになりました。今年度は、田中准教授と熊野が就職担当として指導にあたっています。8月21日現在の進路内定状況は、4年次生61名中、進路内定者は30名(49.2%)、大学院2年次生3名中、1名(33.3%)で全体では、64名中、31名(48.4%)となっています。昨年度とは、就職活動解禁時期が異なるため単純比較はできませんが、昨年同時期より約20%減となっています。今年度は公務員志望者が多く、現在結果待ちであることも多いと思われ、一方、本学への求人は、WEBでの受付が大半となっており、建設業界からの求人は、土木・建築併せて600件以上がデータベースに登録されており、先述した企業の採用意欲の高さを表していると思われる。しかしながら、求人数が増加したにもかかわらず、進路内定率がたにもかわらず、進路内定率が高いことを下回っているという状況は、売り手市場であるといえ、建設業界の採用活動において厳

選抜傾向が堅持されていることを物語るといえます。厳選傾向といっても企業は採用に際して大学での学業成績、すなわち、学力だけでなく、「人物」にも重点を置いて採用活動を行っているのは昔も今も変わりません。ご存知の通り摂南大学は、建学の精神を「理論に裏付けられた実践的技術を持ち、現場で活躍できる専門職業人の育成」として、教育理念に知的専門職業人としての人間力、実践力、統合力と涵養を掲げています。就職で重視される「人物」とは人間力、実践力、統合力を総合したものに他なりません。就職を目指す学生の皆さんは、常に本学の教育理念とそれを具現化した学科の学習・教育到達目標を意識して行動しましょう。学科としても本学の卒業生である会員の皆様との情報交換やアドバイスをいたしながら人間力、実践力、統合力をより無理なく涵養できるように教育システムの改善を目指して社会が求める若き技術者を未来にわたって輩出していただけるよう会員の皆様のご協力をいただければ幸いです。

感謝の気持ちを未来へ。

建設業許可番号 国土交通大臣 許可(特-21)第20898号
一級建築士事務所登録番号 滋賀県知事登録(口)第1898号
ISO 9001:2008 登録番号 RQ0678 ISO 14001:2004 登録番号 RE0352



代表取締役社長 桑原 勝良

本社 〒520-1212 滋賀県高島市安曇川町西万木926番地
TEL0740(32)2345(代) / FAX0740(32)0700
大津本店 〒520-0801 滋賀県大津市におの浜一丁目1番24号
TEL077(525)0999 / FAX077(522)1418

コンクリート製品と建設業を通して、
人々の「安心」「安全」な暮らしの環境造りに貢献する。

事業内容 コンクリート二次製品の開発・設計・施工・製造・販売及び総合建設業
代表者 代表取締役社長 荒川 崇

本社 〒613-0903 京都市伏見区淀本町225番地
TEL 075-631-3231 FAX 075-631-9588
営業所 宮城、群馬、長野、東京、静岡、愛知、三重、滋賀、京都、奈良、大阪、和歌山、兵庫、香川、福岡、沖縄
工場 京都、三重、兵庫

KCON ケイコン株式会社
http://www.kcon.co.jp



環境・エネルギー、防災・減災、
アセットマネジメントの視点から、
新しい時代が求める
「グリーン・コミュニティ〜未来のまちづくり」
を推進します。



Japan Asia Group
国際航業株式会社

関西事業所 / 西日本支社

〒660-0805 兵庫県尼崎市西長洲町1-1-15 TEL : 06-6487-1111

「助かる命をむだにしない」

自然災害調査、地盤調査、各種構造物施設点検
全国各地での地盤防災についての講演
地盤防災士の育成、防災教育の普及と啓蒙活動

地盤を学び災害から身を守る技術を提供します

一般社団法人 地盤診断機構

代表理事 田中 昌明(昭和48年卒)

大阪事務局 〒530-0003 大阪市北区堂島2-1-25-303

TEL:06-4795-5017 FAX:06-6729-1780

東京事務局 〒154-0023 東京都世田谷区若林4-17-17

TEL: 03-6453-2321

E-mail: info@jsk-jiban.com URL: http://www.jsk-jiban.com

地盤防災ジャパン 検索

入社3年目を経て

中日本建設コンサルタント(株)本社環境技術本部
原田 尚慶 (撰平成23年卒・撰大平成25年修)



私は大学院を卒業して、中日本建設コンサルタント(株)に入社してから今年で3年目になります。来年は以降は大阪支社に配属予定です。

現在、名古屋本社と環境技術本部に所属し、上下水道施設の耐震診断及び補強設計や施設の劣化診断等が中心の業務を行っています。入社前に感じていた建設コンサルタントのイメージとは「事務所内に常駐し構造計算や設計図面を作成し、業務内容のわりにくい職種だなあ」程度に考えていましたが、入社後すぐにそのイメージが払拭され、発注者との打合せや設計図面と現場の確認を行うための現地調査等の慌ただしい毎日ですが、やりがいの感じる世界に変わりました。

入社1年目では、上司に付き添い貯水池(治水目的で山からの表流水や伏流水を貯めておく場所)の漏水調査業務に携わり、普段目にするのではない電気探査を実施することにより貯水池の漏水箇所の特定を行いました。2年目では、大阪府寝屋川市にある豊野浄水場浄水池の耐震診断業務に携わりました。入社2年目にも関わらず、難易度の非常に高い液状化地盤と構造物の非線形性を考慮した動的解析による耐震診断を任せられ先輩社員の方に補助をして頂き、毎日遅くまで指針を読み込みながら勉強と業務を進めました。大変な日々が続きましたが、高度な解析業務に携われる機会が得られ非常に達成感がありました。

3年目では、下水処理場の地震・津波に対する防災・減災対策業務に携わりました。下水処理場といってもその処理機能は様々であり、施設重要度や処理機能を考慮することにより合理的な防災及び減災対策の提案を行いました。建設コンサルタントは構造計算や設計図の作成をするだけでなく、発注者に対し資料内容を伝えるための知識や能力が必要であり、また、数多くの業務を進めるために自分一人では解決できないため、社内外問わずコミュニケーション能力が必要だと実感しました。

最後に、就職活動を進めるにあたり自分の就きたい職種の仕事イメージが湧かないかと思いますが、インターンシップや会社見学等に積極的に参加することを推奨したいと思います。

社会人4年目の近状報告

株式会社小島組

林 隆太 (撰平成24年卒)



私は、今年の4月で愛知県に本社がある建設会社に入社して4年目になりました。現場が忙しいと毎日、早朝から夜遅くまで現場や事務所まで書類作成を行い大変な現場もあります。また、入社2年目の春に関東へ転勤となり、職場環境も生活環境も大きく変わりました。転勤だけでなく岩手県や宮城県へ出張で数ヶ月行ったこともあり、少しずつ会社の雰囲気にも慣れてきました。

昨年、二級土木施工管理技術検定試験に合格し、「主任技術者」として現場に出る資格を取得できました。試験に合格する事により自分自身に自信が付き、仕事も楽しくなってきました。しかし、安心もしていられず現場監督として働くには、一級土木施工管理技術者の資格が必要です。現場を熟しながら今年の夏に、一級土木施工管理技術検定試験を受験し資格取得に励んでいます。

入社してから現在まで3年4カ月が経ちましたが、振り返ると沢山の困難がありました。しかし、どの企業に入社しても働いている限りは苦しみや困難があると思います。私がこの困難を乗り越えられたのも周りの人の助けがあったからではないかと思えます。大学で学んできた事が全てでは無く、社会人になってから学ぶ事も沢山あります。私は、また現場監督として一人前ではありませんが、毎日の経験を積み重ね、「安全管理」、「施工計画」、「品質管理」、「コスト管理」等の総合的に現場を指揮できる技術者になれるよう頑張っています。

勉強も大事ですが、部活動やサークル活動、アルバイト等を通じて学生時代に沢山の友人と交流し社交性を身に付ける事も社会人になる前の勉強になると私は思います。大学4回生は、就職活動と卒業研究で大変だと思いますが、後悔しないように最後まで努力して最高の学生生活を過ごしてください。

私は、今年の4月に摂南大学を卒業し、一般社団法人近畿建設協会に入社して今年で4年目を迎えます。入社から3年間は経営企画部に在籍し、各所属部署の業務データの分析、社内研修・講習会の実施、安全対策の推進、公益事業等の業務と社内統括を中心に行っていました。技術的な仕事とは直接の結びつきは少なかったですが、社内全体を見渡せ、また会社の窓口としても社内外問わず人脈を広げられ、他部署にはない良い機会をいただいたと思っています。また、この4月からは大阪支所に異動し道路の管理引継業務に携わっており、国・県・市町などの道路や構造物等の管理者への引き継ぎ資料や管理区分に係る資料作成、また道路の供用開始・区域変更など各種手続きの調整補助等を行っております。初めての現場業務や、国や県・市町との協議、業務中に飛び交う聞き慣れない用語や道路法の条例など、その時々には立ちほだかる壁はありますが、一つ一つ着実に事業が進み道路の供用を迎え、引き継ぎがされていくのを実感する事とその分喜びも大きく、地道に残る仕事の一端を担っていると思ったり、やりがいも大いに感じます。

立ち向かっています

一般社団法人 近畿建設協会 大阪支所

阪本 仁美 (撰平成24年卒)



私は、平成24年に摂南大学を卒業し、一般社団法人近畿建設協会に入社して今年で4年目を迎えます。

入社から3年間は経営企画部に在籍し、各所属部署の業務データの分析、社内研修・講習会の実施、安全対策の推進、公益事業等の業務と社内統括を中心に行っていました。技術的な仕事とは直接の結びつきは少なかったですが、社内全体を見渡せ、また会社の窓口としても社内外問わず人脈を広げられ、他部署にはない良い機会をいただいたと思っています。また、この4月からは大阪支所に異動し道路の管理引継業務に携わっており、国・県・市町などの道路や構造物等の管理者への引き継ぎ資料や管理区分に係る資料作成、また道路の供用開始・区域変更など各種手続きの調整補助等を行っております。初めての現場業務や、国や県・市町との協議、業務中に飛び交う聞き慣れない用語や道路法の条例など、その時々には立ちほだかる壁はありますが、一つ一つ着実に事業が進み道路の供用を迎え、引き継ぎがされていくのを実感する事とその分喜びも大きく、地道に残る仕事の一端を担っていると思ったり、やりがいも大いに感じます。

土木技術職に就いていて思うことは、仕事の幅の広さです。キャリアを積んでも新しい仕事に携われるところが、刺激的でやりがいがあり、土木の魅力でもあると思います。そのため、常にアンテナを高くし、新しいことにも怯まずに挑戦し、貪欲に吸収していくことが必要だなと日々感じております。入社当初に上司から言われた「仕事は逃げたら倍向かったら半分」という言葉は今でも胸に刻んでいて、困難に直面する度に思い出し邁進する勇気をもらっています。今後も、日々勉強を怠らせずに、そしてチャレンジ精神を忘れずに精進していきたいと思っています。

私は、平成24年に摂南大学を卒業し、一般社団法人近畿建設協会に入社して今年で4年目を迎えます。入社から3年間は経営企画部に在籍し、各所属部署の業務データの分析、社内研修・講習会の実施、安全対策の推進、公益事業等の業務と社内統括を中心に行っていました。技術的な仕事とは直接の結びつきは少なかったですが、社内全体を見渡せ、また会社の窓口としても社内外問わず人脈を広げられ、他部署にはない良い機会をいただいたと思っています。また、この4月からは大阪支所に異動し道路の管理引継業務に携わっており、国・県・市町などの道路や構造物等の管理者への引き継ぎ資料や管理区分に係る資料作成、また道路の供用開始・区域変更など各種手続きの調整補助等を行っております。初めての現場業務や、国や県・市町との協議、業務中に飛び交う聞き慣れない用語や道路法の条例など、その時々には立ちほだかる壁はありますが、一つ一つ着実に事業が進み道路の供用を迎え、引き継ぎがされていくのを実感する事とその分喜びも大きく、地道に残る仕事の一端を担っていると思ったり、やりがいも大いに感じます。

技術士会だより

会長 木下 幸佐 (撰大昭和57年卒)

技術士会は、平成14年2月の発足以来14年目を迎え、発足3年目からおこなっております総会および特別講演会の開催も今年で11回を数えました。会員数も建設部門のみならず上下水道部門、機械部門の方も加入戴き69名となりました。

技術士会では、毎年在学生に対する技術士第1次試験受験セミナーの開催を行っております。昨年は2名の院生が技術士第1次試験に合格され準

会員となられ、大変喜ばしく思っております。

また平成20年からは、大学技術士会連絡協議会のメンバーとしても大学相互の技術士の連携・啓発活動に参画しており、参加大学も25大学と増加しております。

卒業生の皆様方の中で、技術士および技術士補をお持ちの方は是非、技術士会への入会をお願いします。会員相互の連携と親睦をはかり、微力ながら母校の発展に尽力しましょう。

真心と技術で創造します

企業
 ・構造・工法
 ・環境アセスメント
 ・企画コンセプト
 ・事業調査
 ・事業立案

安全
 ・III
 ・IV
 ・IV
 ・IV

品質
 ・IV
 ・IV
 ・IV
 ・IV

設計
 ・マスタープラン
 ・周辺調査・対策
 ・シミュレーション
 ・予算・事業再チェック

技術開発
 ・構造・工法・部材・VE
 ・新事業
 ・運営・管理
 ・メンテナンス

土木部門
 ・土木部門
 ・土木部門
 ・土木部門

建築部門
 ・建築部門
 ・建築部門
 ・建築部門

施工
 ・環境対策
 ・資源リサイクル
 ・最新技術導入
 ・構造・工法等の品質管理
 ・作業の合理化・短絡化
 ・バリューエンジニアリング

メンテナンス
 ・運営・管理
 ・点検・サービス
 ・アフターサービス
 ・安全管理システム

環境
 ・環境対策
 ・資源リサイクル
 ・最新技術導入
 ・構造・工法等の品質管理
 ・作業の合理化・短絡化
 ・バリューエンジニアリング

〒532-8532 大阪市淀川区西中島3丁目9番15号
<http://www.daitetsu.co.jp/>

大鉄工業

株式会社 修成建設コンサルタント

快適な国土をデザインする

代表取締役社長 八尾博彦

事務所 兵庫・姫路・京都・滋賀・福井・奈良・和歌山・名古屋

卒業生 吉澤慶文 高専土木 S50 徳久仁志 高専土木 S54 小東宏光 撰大 H4 藤原基享 撰大 H7 川村真樹 修士過程 H20 札幌大太 修士課程 H25

環境
 河川・砂防
 海岸・海洋

交通計画
 港湾・空港
 交通、情報、システム、そして人

都市及び地方計画
 調査・分析
 特殊車両

自然、環境、景観、街、文化、

つねに新しいテーマに挑戦

防災
 道路
 地下構造物

橋梁
 施工計画

〒530-0055 大阪市北区野崎町7番8号 梅田パークビル 8F
 TEL 06-6367-3800 Mail scsomu@shusei.co.jp

「都市環境システム工学科 建築士プログラム」(一級建築士受験資格)認定条件※1

入学年(西暦)	入学年(平成)	学科	「建築士プログラム」認定の条件
2002	14	都市環境システム工学科	平成20年度開講の「建築製図」又は平成21年度から開講の「建築設計製図」を科目履修生として単位取得する*2。又は同等の科目を他大学で履修して単位取得する*3。
2003	15		
2004	16		
2005	17		
2006	18		
2007	19		
2008	20		
2009以降	21以降		平成20年度開講の「建築製図」を単位取得して卒業する。又は卒業後に「建築設計製図」(平成21年度から開講)を科目履修生として単位取得する*2。もしくは同等の科目を他大学で科目履修して単位取得する*3。
			平成21年度から開講の「建築設計製図」を単位取得して卒業する。又は卒業後に「建築設計製図」を科目履修生として単位取得する*2。もしくは同等の科目を他大学で科目履修して単位取得する*3。
			認定されない。*4

- ※1：一級建築士受験を目指す「建築士プログラム」認定の条件です。卒業後に、建築に関して2年以上の実務経験を経て一級建築士試験の受験資格が得られます。二級建築士は、卒業後に1年以上の実務経験を経て受験できます。この場合、「建築士プログラム」認定の必要はありません。また、二級建築士合格後、4年以上の実務経験を経て一級建築士が受験できます。
- ※2：卒業後に対象科目の単位修得を行った場合も実務経験の起算日は卒業時となりました。なお科目履修の手続きについては教務課に問い合わせください。
- ※3：卒業後に対象科目の単位を他大学で取得した場合でも一級建築士の受験資格が得られるようになりました。詳しい条件等については教務課又は(財)建築技術教育普及センターに問い合わせください。
- ※4：2009年度入学生(2010年度以降は都市環境工学科)からは新建築士法が適用されます。「建築士プログラム」は認定されませんが、新建築士法の規定により、指定科目の履修と所定の実務経験から二級建築士の受験資格が得られます。

事務スタッフ紹介

河合 かおり



はじめまして。
4月から都市環境工学科に勤務することになりました河合かおりです。
今まで民間企業ばかりの就業で、学校勤務は未経験でした。学校は、私にとって堅いイメージしかなく、今回の就業はかなり悩みました。
しかし、派遣されて一番に感じたのは、とても自由な雰囲気でした。
そして見渡せば見えてくる、学生たちの楽しそうな笑顔。その瞬間、学校へのマイナスなイメージは一変し、この場所は、未来の社会を支える人材が旅立つ場所でもあり、短い人生の中で、輝く時間を過ごす場所でもあるのだと思いました。
私に出来ることは、そんな学生たちを少しでも手助けすること。そう強く感じました。
まだ不慣れなところもありますが、同じ事務スタッフの方々に助けられながら、私も、ここで一緒に成長したいと思います。

荒瀬美喜夫 (昭和44年卒)	太田明 (昭和43年卒)	長尾茂和 (昭和62年卒)	窪田保憲 (高専昭和45年卒)	中井由華里 (平成21年卒)	福井雄一 (平成11年卒)	才野紅葉 (平成26年卒)	上出聰 (平成6年卒)	向日市役所
宇山明男 (昭和58年卒)	安永礼三 (昭和48年卒)	目良敏 (昭和47年卒)	高岡洋公 (平成19年卒)	西村正道 (昭和49年卒)	別所友宏 (昭和46年卒)	奥田日出男 (昭和43年卒)	殿村孝 (平成6年卒)	赤羽太
摂南大学吹奏楽部	三上賢二 (昭和49年卒)	坂本圭 (平成10年卒)	篠原嘉明 (昭和49年卒)	宇宿公彦 (昭和61年卒)	森俊介 (昭和55年卒)	加藤和夫 (昭和54年卒)	田中昌明 (昭和48年卒)	西川高雄 (昭和54年卒)

昨年10月以降に寄付いただいた方を
今号にてご紹介いたします。(順不同)

HC 21世紀をグローバルに拓く
株式会社 **花村コンサルタント**

業者登録
・建設コンサルタント業 第8662号
・地質調査業 第1760号
・測量業 第14744号
・土壌汚染指定調査機関 環2003-2-30

代表取締役 **花村 浩司** (高専C昭和47年卒)

本社 〒611-0042 京都府宇治市小倉町南浦 9-8
TEL (0774) 21-5067 FAX (0774) 21-5068
大阪事務所 〒542-0012 大阪市中央区谷町 7-3-4 新谷町第三 314
TEL (06) 6764-7438 FAX (06) 6764-7439

地球の未来は人の未来。

鳥のさえずり、木々のざわめき、青い空と輝く海。
ほら、地球はこんなにも美しい。
これからも大切にしたいから、
僕らができること、
少しずつはじめちゃ。

Yes! Harmony
東亜建設工業

〒163-1031 東京都新宿区西新宿 3-7-1 新宿パークタワー <http://www.toa-const.co.jp/>

BesTech **ベステック株式会社**

未来のために今できることを、
ひとりひとりの技術と信頼のネットワークで社会に貢献します

■宅造成設計、土地区画整理設計、道路設計、
公園設計、下水道設計など、土木設計業務全般

大阪市中央区天満橋京町1-24 ストーク児島ビル
TEL 06-6945-5781 FAX 06-6945-5782

代表取締役 **木下 幸佐** (摂大昭和57年卒)

株式会社 日照技術コンサルタント

建設コンサルタント
道路、河川・砂防及び海岸・海洋
都市計画及び地方計画
下水道、施工管理、発注者支援

測量
測量全般、鉄道測量 (JR)

代表取締役 **市原 久照** (高専52年卒)

〒611-0041 京都府宇治市横島町月夜3番地の2
TEL 0774-22-7137 FAX 0774-22-4966
E-mail: nissho-soumu@cyber.ocn.ne.jp
<http://nissho-engineer.co.jp>
支店、営業所：大阪支店・城陽支店・南丹営業所



テーマ「摂南大学ってどんな大学？」

充実した生活の中で、私達はこんなことを考えています！

ニーズに合わせた対応ができる場所



2年生 井村 郁美

摂南大学は、一人一人のニーズに合わせた対応ができる大学だと思います。7学部13学科存在する総合大学であるため、専門性を担保しつつ、幅広い学習をすることができます。また、勉強面だけでなく、課外活動もとても盛んで、たくさんの学生が明るく、元気にトレーニングに励んでいます。その他にも、就職部による徹底した就職支援や教員免許・さまざまな資格の取得におけるサポートが充実しています。そのため、私たち学生は、自分が本当に頑張りたいことを見つけ、視野を広げたり、社会に出るために必要な大事なことを学ぶことができます。摂南大学という素晴らしい環境を活かして、何事にも積極的に取り組み、最高の仲間とともにかけがえのないキャンパスライフを過ごしたいです。

自分を成長させてくれる場所



1年生 渡邊 啓太

総合大学である摂南大学は、全学部対象の授業や、部活やサークルなどで他学部との交流ができ、人との繋がりをもてますし、とても施設が充実しています。それに加えて、校方キャンパスの人とも部活の交流戦やボランティアスタッフがサポートしている新入生ふれあいキャンプに参加することにより、キャンパスを越えて人とのコミュニケーションを図ることができました。私は、この摂南大学で「自分を成長させたい」と思います。

授業面では、少人数教育や学習支援センターで自分が苦手な科目を、マンツーマンで理解できるまでしっかりと教えていただいたり、基礎学習において自分にあった学習ができます。また、就職部、資格サポートセンターや公務員志望の学生に対するサポートがあり、学生生活だけではなく、社会人になるために必要なことについて様々なサポートを受けられ、卒業後のことをイメージすることができます。私は、このきれいで設備が充実したキャンパスで充実した学生生活を過ごし、自信をもって社会に飛び出したいです。

入学して良かったと思える場所



4年生 東中 一晃

考えることは十人十色でも、ただ一つ「この摂南大学に来て良かった」という心緒は共有できるそんな場所だと思います。現在、私は熊谷ゼミ（地域環境計画研究室）に所属していますが、毎週ゼミにおいて熱心に指導してもらえるので、がんばろうという気持ちになります。銘々、この摂南大学に入学することを決めた理由があると思います。そして入学する以前、誰もが抱くであろう「大学」に対する期待やそれと同等の不安も様々かと思えます。しかし、期待はその通りに、不安は杞憂に終わったのではないのでしょうか。常日頃から楽しい雰囲気や充実感で、それがクラブ・サークル活動を活発にさせたり、イベントは忘れられないぐらいの盛り上がりを見せることに繋がるのでしょう。また、先生方との距離が近いのも摂南大学の特徴だと思います。勉強や就職に関すること、その他学生生活での疑問など、大学に通う上で避けられない不安や相談事を親身になって聞いてくれます。そして、結論はきちんと自分で考えるように導いてくれるので感謝しています。

摂南大学エコシビル部が与えてくれた経験



3年生 内山 昌哉

摂南大学は、「いろいろな経験を与えてくれるところ」と思っています。私は、エコシビル部という部活に所属しています。元々は土木工学研究部という名前で、大学創設当初からある歴史の長い部活です。土木工学分野において、環境が重視されるようになった時代背景に合わせ、環境を表すecoと市民や土木を表すCIVILを組み合わせた造語を用いて改名し、土木に加えて市民活動や環境活動に幅を広げています。

活動内容は大きく2つあり、1つは拠点整備活動です。淀川の点野地区を拠点とし、河川レンジャーの方々と協力して河川敷に生えている外来植物の草刈りを行っています。私自身、授業とともにフィールドワークを経験することにより、生態環境学の知識を習得し外来種のことを学び、外来種の繁殖力や生命力、脅威を体感しています。外来種の生命力におされ固有種が少なくなっているのが現状としてある中で河川整備はとても大切なことであると考えています。

編集後記

このページは、私たち大学院生が企画し作成したものです。ここでは、先生方やOB・OGだけでなく学生や学生のご家族にも親しみのある会報誌になるように、学生自身の考えや意見を主に掲載しています。現在、本学科には279名の学生が在籍しています。昨年度には摂南大学土木会は50周年を迎えましたが、摂南大学の様子もこの50年間で様々な変化があるかと思えます。そこで、現在の摂南大学の様子を皆様に知ってもらいたく、今回のテーマを「摂南大学ってどんな大学？」としました。1回生から4回生まで意見が異なり、学年によってさまざまな感じ方があると思えました。最後に、このページの作成にご協力してくださった先生方やアンケートに答えてくださった学生の皆様に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。



松田拓也、岩田健太郎
松田優花